



企財第 20 号
平成19年4月24日

国土交通省道路局長 様

岩手県山田町長 沼崎 喜一



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたことについて、別紙のとおり意見書を提出します。

担当：岩手県山田町企画財政課
企画チーム 主任 加藤
TEL0193-82-3111 (ext.438)
FAX0193-82-4989

別紙

「地方にはこれ以上の道路新設や整備は必要ない。」など地方の実情を知ろうともしない一部のマスコミや知識人の発言を聞くたびに怒りが込み上げてくる。わが町と仙台市を結ぶ三陸縦貫自動車道が唯一大消費地への幹線自動車道であるにも関わらず、いまだに全線開通となっていないし何時完成するかも明らかではない。

輸送時間のロスやコスト高によって、折角の三陸の新鮮で安全安心な食材が都市の消費者に正当な評価をいただけていないと思うし、そのことが地方での第一次産業衰退の大きな原因となっている。企業誘致も道路事情を説明した時点で頓挫するし、観光客も移動時間を考えれば二の足を踏む。

早急な是正が求められている地域間格差をもたらしているのは、「道路格差」である。

特に優先度の高い政策と問われるならば、既に国民に約束している自動車道のネットワークを、内陸部への肋骨路線と合わせて一日も早く完成させていたきたいことに尽きる。